

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. D-74

<b>部門名:</b> 校内研修プログラム開発・ 実践部門	<b>エントリー名: 男衾中学校 (おぶすまちゅうがっこう)</b>
<b>活動名:</b> 主タイトル (教科を越えた学び合い学習) 副タイトル (学び合いが生徒の学びを進化させる)	
<b>解決すべき課題:</b> 主体的・対話的で深い学びの実現 (教師一斉型から生徒が主役の授業スタイル) に向け、すべての教科で 4 人の小グループを活用し、聴き合う関係を構築するとともに、生徒の学びのプロセスに即して、生徒一人一人の確かな学びを保障する。	
<b>目標・方針:</b> 目標: 学び合いを通じた人権感覚の育成及び学力の向上 方針: 全クラス、全教科で小グループの学び合いを実施する。全職員で教科を越えた公開授業を行う。各教科の特性でなく、生徒の実態に即した、全教職員での校内研究を行う。全職員で生徒一人一人を大切にケアし、地域の宝を育てる。	
<b>活動内容:</b> ① 全クラス、男女市松模様の座席配置 ② 全教科、小グループの学び合いの実施 ③ 教科書レベル課題、発展的な課題の実施 ④ 「分からない」を共有できる聴き合う関係づくり ⑤ 級友が学ぶ仲間へと変容 ⑥ 学級の学び合う雰囲気の醸成 ⑦ 行事・学校を更に輝くものに	
<b>活動の成果:</b> <人権感覚の育成> ○仲間とつながり、学ぶ雰囲気の確立 ○教師より生徒の発言の多い授業への変化 ○生徒たちが問い、説明し合える授業展開 ○生徒の笑顔の増加 <学力面> ○全国学力・学習状況調査における経年変化 (H27⇒H30 全国を 100 とした場合 国語 A 3.6 ポイント向上 国語 B 8.1 ポイント向上 数学 A 7.9 ポイント向上 数学 B 9.6 ポイント向上 理科 12.4 ポイント向上) ○埼玉県学力・学習状況調査における個々の伸び (H29⇒H30 英語 90%以上の生徒が伸びている) ○英語検定の受検者、3 級以上取得者の増加 (H28 9.3%⇒ H29 22.5%⇒ H30 50.2%) ○実力テストにおける標準点 (偏差値) の変容 (H29⇒R1) 国語 2.5up, 数学 2.5up, 社会 2.7up, 理科 4.1up, 英語 3.5up ○非認知能力及び学習方略の向上 <その他> ○作文「私の学校の自慢」において、「僕の学校の自慢は学び合いです。みんなで話して楽しく学ぶことで、苦手だった数学が分かるようになってきました。」	
<b>アピールポイント (アイデアや工夫):</b> ・学び合いを通して生徒の学びが進化します。(生徒が授業をつくり、進んで参加する生徒が増加します！) ・教科を越え全職員で共通行動できます。(職員室が生徒の話題で明るくなります！) ・生徒のことをもっともっと考えるようになります。(授業も行事も生徒・教員みんなで取り組みます！) ・地域の宝に成長します。(他者とのつながりを考えられ、貢献できる生徒に成長します！) ・すべての学びが繋がります。(どんな学校でも取り組み、さらに行事が輝き、学校力が高まります！)	

学び合い (小グループ)



公開授業

学び合い (コの字)



校内研修会



AL (学び合い) の実施 学習方略 非認知能力の県との比較

